

## 第 20 回 廃棄物対策専門委員会 議事要旨

日時：2018 年 12 月 6 日（金）9：30～12：25

場所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 第二大会議室

1. これまでの固体廃棄物の処理・処分に関する研究開発成果について（処理・処分概念の構築と安全評価手法の開発（処分を除く））

NDF から、現在実施している工学規模での処理技術の検討概要を説明した後、各処理技術の研究開発実施主体から、これまでの成果について説明し、各技術の比較について議論した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

- 実用規模での処理の適用性評価においては、対象とする廃棄物量を考慮し、現実的に工業的な利用が可能であることを確認すべきである。
- 課題について、技術の適用性の検討なのか、適用にあたっての課題解決なのか、適切に整理すべきである。
- 高線量の廃棄物を対象とすることから、トラブルに対するレジリアンスや遠隔メンテナンス性についての検討も必要である。また、系統の中でのセシウムの挙動及び、それを考慮したメンテナンス性についても調査を進めて欲しい。
- 浸出率や処分時の安全評価を技術的課題に挙げているが、処分概念と合わせて検討する必要がある。また、溶出・拡散特性や拡散を抑制する必要がある期間は核種によって異なることから、処理方式を含めてどのような手段で拡散を抑えるのか、よく整理して考える必要がある。

2. 2019 年度以降の固体廃棄物処理・処分に関する研究開発計画について

NDF から、2019 年度以降の固体廃棄物処理・処分に関する研究開発計画について説明した。

3. その他

- 次回廃棄物対策専門委員会について。

以 上